

適性検査・推薦入学が変わります。

京都市立銅駝美術工芸高等学校

これまでの着色写生を廃止して、新たに適性検査Ⅱ「イメージ表現」を実施します。また、基礎学力を問う適性検査として、適性検査Ⅰ「国語・数学・英語(各30分)」を行い、これまで推薦入学で実施していた学習状況診断テストを廃止します。推薦入学は、推薦書・報告書と面接及び作文により総合的に合否を判定します。

適性検査Ⅰ…国語・数学・英語 検査時間 30分 中学校の学習内容が基本です。

内容及び難易度はこれまでの学習状況診断テストと変わりません。

検査時間は各30分になります。

国 語…現代文・古文、両方の分野から出題します。

「現代文」

- ・記号問題だけでなく、記述問題も出題します。主語・述語を踏まえ、読んだ人にその文を

読むだけで、言いたいことが伝わるようにしましょう。

基礎的な語彙力、文法力を踏まえながら、前後の文脈をしっかりとらえられる読解力が必要です。ふだんから文章を読み慣れておきましょう。

漢字の学習も大切です、記述式の問題もあります。

「古 文」

- ・古文では特有の歴史的仮名遣い、基本古語を教科書で復習し、理解しておきましょう。

古文の文章全体を正確に読み取る力を付けてください。

数 学

- ・「数や文字式を計算する力」
- ・「数量関係をみる力」
- ・「図形(立体を含む)を扱う力」を見る問題を出題します。
- ・教科書に出ている公式や性質を正しく理解し、活用できるよう練習しておいてください。

英 語

- ・教科書に出てくる基本的な語句、文法、表現などがきちんと理解できているかを見ます。
- ・英文を読んで内容を把握できるかどうかを問う形式も出題します。
- ・中学校での学習にしっかり取り組み、教科書に出てくる基本事項は確実に覚え、何度も読んでおいてください。知らない単語や言い方は必ず確認しておきましょう。
- また、自分の言いたいことを簡単な英語で表現する練習をしておいてください。



適性検査Ⅱ…「イメージ表現」 発想力や表現力などを見る検査です。

90分 B4画用紙(横使用) アクリルガッシュ(12色または18色セット)を用いること。

- 与えられた「言葉」とモチーフ(一人一人に配付)の組み合わせから豊かに発想し、そのイメージを色彩によって画面(B4画用紙、横位置 全面使用)に表現するものです。
- モチーフは正確に描写できているかどうかを問うものではなく、言葉との組み合わせの中でどのように扱われているかが大切です。画面の中に必ずモチーフとわかるように表現してください。モチーフの色合いや個数などは自由です。
- 評価のための観点は以下の通りです。
 - ・与えられた言葉とモチーフを組み合わせ、感じ取ったことや考えたことをもとにして豊かな発想や構想ができているか。
 - ・生み出した発想をもとにその主題について、色彩を用いて効果的に美しく表現できているか。
 - ・発想したイメージに沿って画面構成が工夫されているか。

モチーフの例 「風船」「マグカップ」「ボタン」「めがね」「本」
言葉の例 「冒険」「遊び」「思い出」「夏」「情熱」「旅」「変身」

適性検査Ⅲ…「鉛筆デッサン」 観察力や描写力などを見る検査です。

120分 四つ切り画用紙(横使用)

従来と変わりません。

基本的な形、ものの大きさの違い、光と影との関係が見えているかどうかポイントで球・直方体といった基本的な形態から出題します。

鉛筆デッサン 過去5年間の出題

年度	
20	スチロールブロック・ペイント缶
21	紙箱(ダンボール製)・紙コップ
22	オイルポット・洗車スポンジ
23	プラスチックのボトル(黒)・紙箱(薄茶)
24	洗車スポンジ・塩ビ継手パイプ(グレー)

※持参用具や時間割り等については、本校の平成25年度適性検査要項を参照してください。

平成25年度の選抜

